

テーマ	『母子寮からの自立に向けて』
-----	----------------

1 達成に向けた手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・新生活(家庭、学校、医療受診など)に対して、週1回のSSW面談を行い、子どもや母親が家庭や学校において不安に思っていること、困っていることを聴き取り、SSWが学校や関係機関と連携して支援する。 ・経済面の安定や社会的自立のため、母親への就職支援及び子どもの療育(発達障害)や居場所づくり、母親の子育て負担軽減のため、放課後等デイサービスの新規利用に向けて支援する。

2 取組の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新生活での困り事に相談対応し、関係機関へ一緒に問い合わせすることで、家庭生活の衣食住は安定した。母子ともに精神科病院へ受診でき、精神科訪問看護も継続的に利用中である。療育手帳の更新のやり方を助言した。 ○ 1学期当初は転校してきたばかりで、母子ともに不安感が強く、子どもは学校で大声を上げたり、廊下で泣き叫んだりすることがあった。SSWが母子の家庭や学校生活の不安点を聴き取り、特別支援学級担任やSSR教師と連携して対応することで、1学期後半では支援学級で落ち着いて学習に取り組めるようになった。2学期から支援学級の担任が産休/育休に入り、担任変更となったが、これまでの経緯を含めて、新担任と母との関係作りをSSWがサポートし、良好な関係構築へとつなげた。 母は保護者同士の交流に拒否感があったが、SSWと一緒に行事に参加して、母が他の保護者と交流することができた。 ○ 放課後等デイサービスの利用開始にあたり、事業所探しや手続きについてSSWが助言し、時には一緒に問い合わせを行い、1学期中に1か所目、2学期には2か所目を利用できるようになった。 ◆ 経済面の安定や母の社会的自立を目指し、母が就職したいと思っている。2学期後半から、SSWとの面談で、母の就労条件や生活との両立についての思いを一緒に整理し、情報提供した。その後、就職活動を行い、仕事を始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 母子ともに新しい環境になるタイミングには不安感が強く出るため、そのタイミングでの相談対応が必要である。 ● 交流学級の中で、大人数の児童との関係作りや、本人からSOSを出せるようになることが課題である。 ● 母が放課後等デイサービス事業所のスタッフや相談支援事業所の相談員に対して相談する際には、サポートが必要である。 ● 母の仕事のタイミングによって利用日等の変更の可能性あり。 ● 今回は短期アルバイトのため、継続的な就労に向けて、また就職活動をする予定である。家庭と仕事の両立支援に対しての相談対応は必要である。

3 次年度に向けて

【課題】

- ・年度変わりではクラス替えがあるため、新しい学級の児童や教師との関係作りや環境適応が課題である。
- ・母の就職活動に伴い、家庭と仕事の両立支援が必要である。

【手立て】

- ・本年度中に、本人と母とこの1年を振り返り、来年度へつなげる。
具体的には1年の成果を確認し、来年の目標や、来年想定されるトラブル時の対処法などを一緒に考える。
- ・次年度の特別支援学級の担任と本年度の経過や今後想定される課題等を共有し、児童や保護者対応の共通認識を持つ。
- ・次年度も定期的な面談(今年度よりは間隔をあけて実施)を継続することで、経過確認し、新規課題に対して支援していく。